ユーシン 景況レポート

Number.127
（2026.1～3月期）

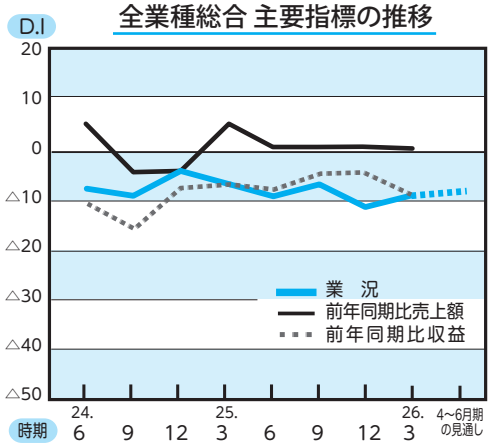
結城信用金庫

■このレポートは、当金庫のお客様231企業（回答企業230企業）について、景気の現状と今後の見通しを調査したものです。

調査結果のあらまし

概況（1月▶3月期） 業況は製造業、小売業、サービス業で改善

全業種総合 主要指標の推移



茨城県西地域の中小企業の業況判断D.Iは△10.9と、10月～12月期（前期）の調査より＋1.8ポイント改善し、景況感はやや改善しました。業種別では、製造業で前期比＋1.4ポイント、小売業で同比＋19.5ポイント、サービス業で同比＋3.3ポイント改善しましたが、卸売業で同比△2.8ポイント、建設業で同比△14.0ポイント、不動産業で△0.1ポイントの低下となりました。項目別では、売上額判断D.Iが△0.9、収益判断D.Iは△4.8となり、ともに前期比横ばいとなりました。また、前年同期比売上額判断D.Iが0.9で前期比△0.5ポイント、同収益判断D.Iが△9.2で同比△5.2ポイントとなり、ともに低下しました。雇用面では、人手過不足判断D.Iが△18.3で前期比＋0.1ポイントとなり、人手不足感に大きな変化はありません。また、前期比残業時間D.Iは1.3となり、前期比△0.9ポイントの低下となりました。借入金の動きでは、「借入した」が前期比△2.7ポイントの低下となりました。借入難易度については容易と回答した事業者の割合は、前期と比べてやや増加しました。経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が34.3%、「原材料高」が26.1%、「人手不足」が23.5%と上位に挙げられました。

また、特別調査の「中小企業経営者のライフデザイン」について、社長（代表者）は、今後の10年先の自社の経営について、どのように展望していらっしゃいますかとの質問に対し、現状維持・横ばいと回答した事業者が63.5%と最も多い結果となりました。

◎業況判断D.I＝「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を差し引いた指標　◎特別調査の詳細は8～9ページに掲載しています

3ヶ月予報

見通し（4月▶6月期） 業況の見通し判断D.Iは△8.7、当期実績比＋0.4ポイント改善の見込

来期は、製造業、卸売業、建設業で改善を見込んでいます。項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比△4.3ポイント、収益判断D.Iが同比△5.6ポイントと、ともに低下を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比△2.2ポイントの低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比＋1.7ポイント改善の見込み、残業時間判断D.Iについては同比△0.4ポイント低下の見込みとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が58.3%、「販路を広げる」が38.7%、「人材を確保する」が23.5%と上位に挙げられました。

景況天気図

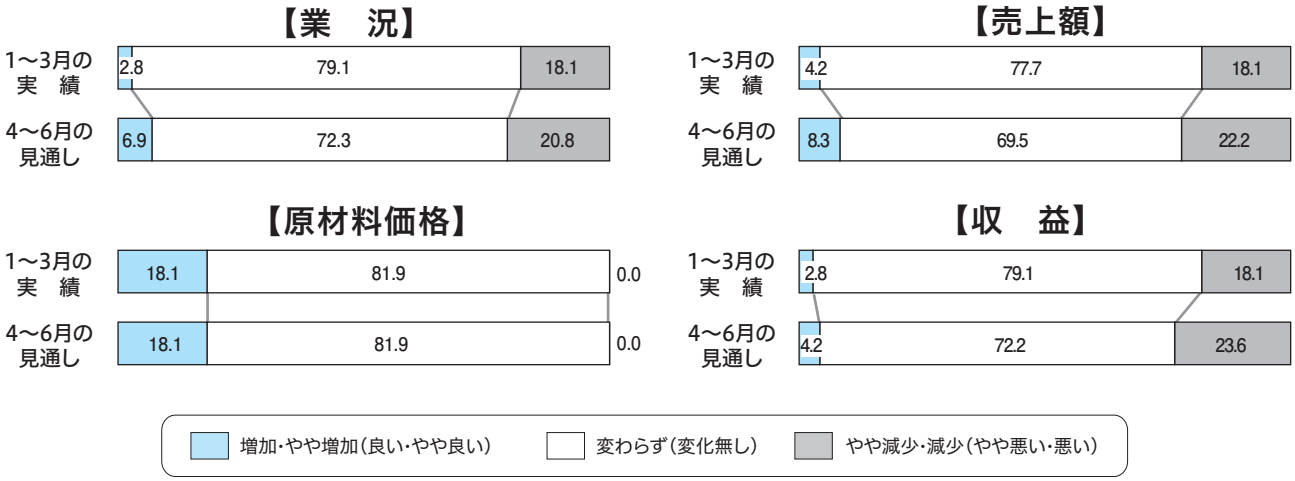
〔この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました〕

業種名＼時期	7年10月～12月	8年1月～3月	8年4月～6月見通し	概要
総合	↗	↗		業況判断D.Iは、＋1.8ポイント改善し△9.1。来期は、＋0.4ポイント改善し△8.7の見通し。
製造業	↗	↗		業況判断D.Iは、＋1.4ポイント改善し△15.3。来期は、＋1.4ポイント改善し△13.9の見通し。
卸売業	↘	↗		業況判断D.Iは、△2.8ポイント低下し△6.2。来期は、＋6.2ポイント低下し0.0の見通し。
小売業	↗	↗	↘	業況判断D.Iは、＋19.5ポイント低下し△7.3。来期は、△7.3ポイント低下し△14.6の見通し。
サービス業	↗	↗	↘	業況判断D.Iは、＋3.3ポイント改善し△6.4。来期は、△13.0ポイント低下し△19.4の見通し。
建設業	↘	↗		業況判断D.Iは、△14.0ポイント低下し2.8。来期は、＋13.9ポイント改善し11.1の見通し。
不動産業	↘	→		業況判断D.Iは、△0.1ポイント改善し△11.2。来期は、横ばいの△11.2の見通し。

好調← →低調　／　↗業況改善　↘業況悪化　→業況変化なし

■製 造 業

回答企業数72企業(回答率100%)



概況(1月▶3月期)

景況天気図

業況判断D.Iは△15.3、前期比+1.4ポイントの改善

項目別では、売上額判断D.Iが△13.9で前期比△9.7ポイント、収益判断D.Iが△15.3で同比△8.3ポイントとなり、ともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△11.1で前期比△4.1ポイント、同収益判断D.Iが△15.3で同比△11.1ポイントとなり、ともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△19.4で前期比△9.7ポイントの低下となり、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは1.4で前期比△2.8ポイントの低下となりました。

借入金の動きでは、「借入した」が8.3%(前期9.7%)、「予定あり」が4.2%(同4.2%)を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は1.4%(前期2.8%)となりました。

経営上の問題点では、「原材料高」が44.4%、「売上の停滞・減少」が27.8%、「人手不足」が23.6%と上位に挙げられました。

見通し(4月▶6月期)

3ヶ月予報

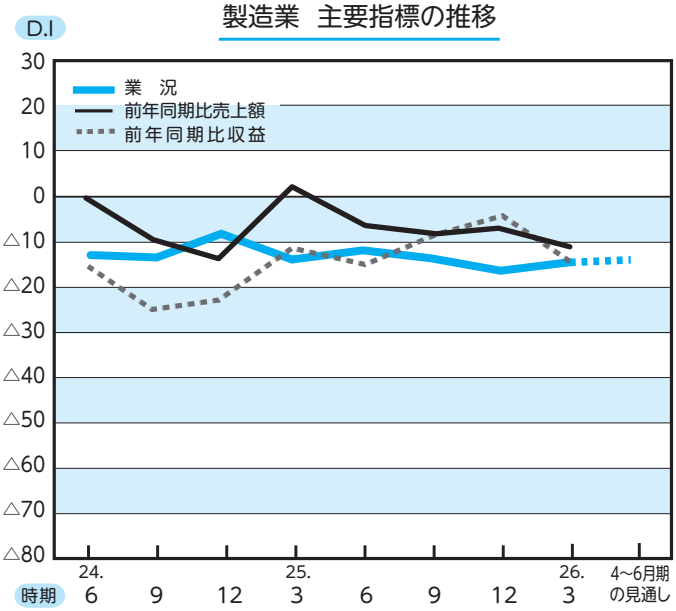
業況の見通し判断D.Iは△13.9、当期実績比+1.4ポイント改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比横ばい、収益判断D.Iは同比△4.1ポイントの低下を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比△8.3ポイントの低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比+2.8ポイント改善の見通し、残業時間判断D.Iは同比横ばいの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が59.7%、「販路を広げる」が51.4%、「人材を確保する」が26.4%と上位に挙げられました。

製造業 主要指標の推移

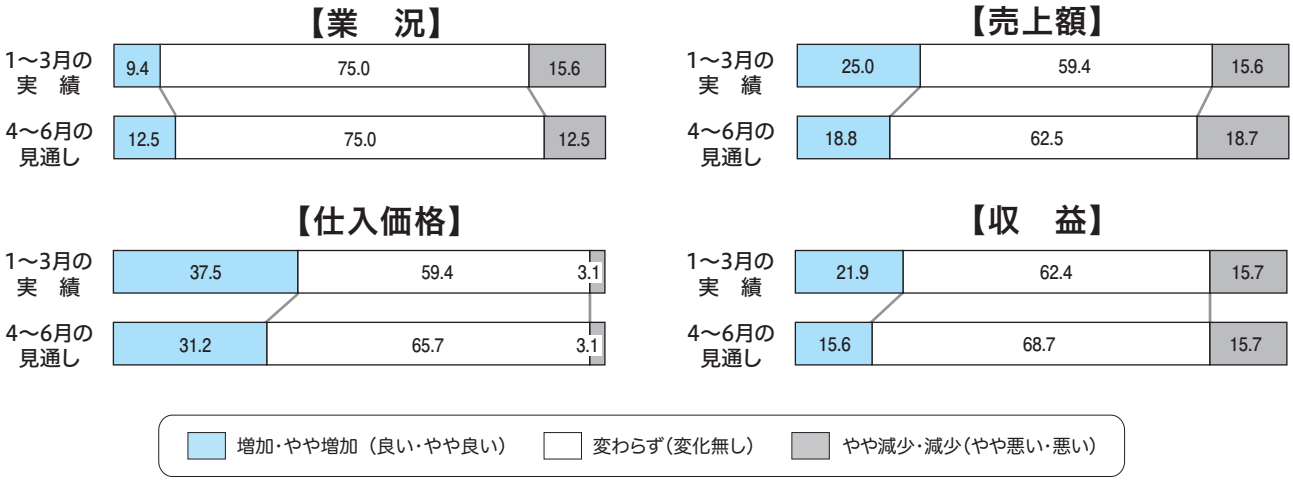


調査員のコメントから

- 前期増収傾向だが、海外情勢により生産量の見通しが立ちにくくなっている。
- 新製品の開発に力を入れており、販路拡大が課題。

■卸 売 業

回答企業数32企業（回答率97.0%）



概況（1月▶3月期）　業況判断D.Iは△6.2、前期比△2.8ポイントの低下

景況天気図

項目別では、売上額判断D.Iが9.4で前期比+12.7ポイント、収益判断D.Iが6.2で同比+9.5ポイントとなり、ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが12.5で前期比+2.5ポイント、同収益判断D.Iが6.3で同比+6.3ポイントとなり、ともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△9.4で前期比+0.6ポイントの改善となり、人手不足感はわずかに緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは0.0で前期比△3.3ポイントの低下となりました。

借入金の動きでは、「借入した」が3.1%（前期20.0%）、「予定あり」が6.3%（同6.7%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は3.1%（前期3.3%）となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が37.5%、「利幅の縮小」が28.1%、「売上の停滞・減少」「仕入先からの値上げ要請」が21.9%と上位に挙げられました。

見通し（4月▶6月期）

3ヶ月予報

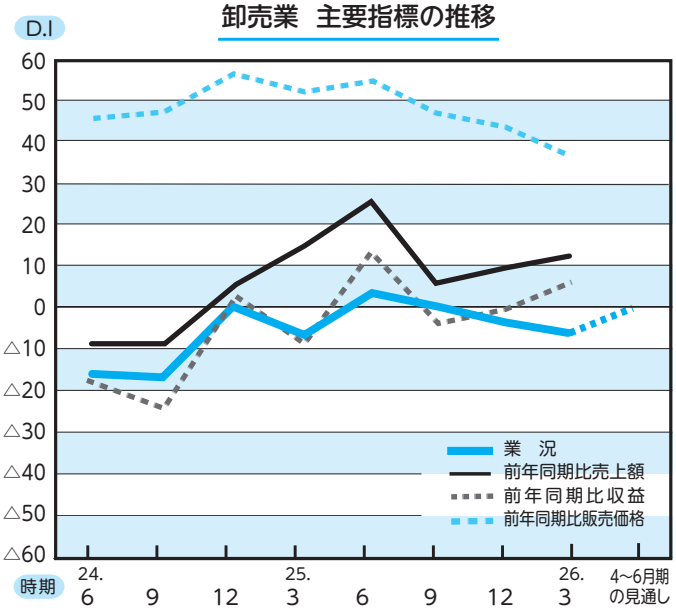
業況の見通し判断D.Iは0.0、当期実績比+6.2ポイント改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比△9.3ポイント、収益判断D.Iが同比△6.3ポイントと、ともに低下を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比△3.1ポイントの低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比＋3.1ポイント、残業時間判断D.Ⅰが同比＋3.1ポイントと、ともに改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が68.8%、「販路を広げる」が62.5%、「品揃えを充実する」が21.9%と上位に挙げられました。

卸売業　主要指標の推移

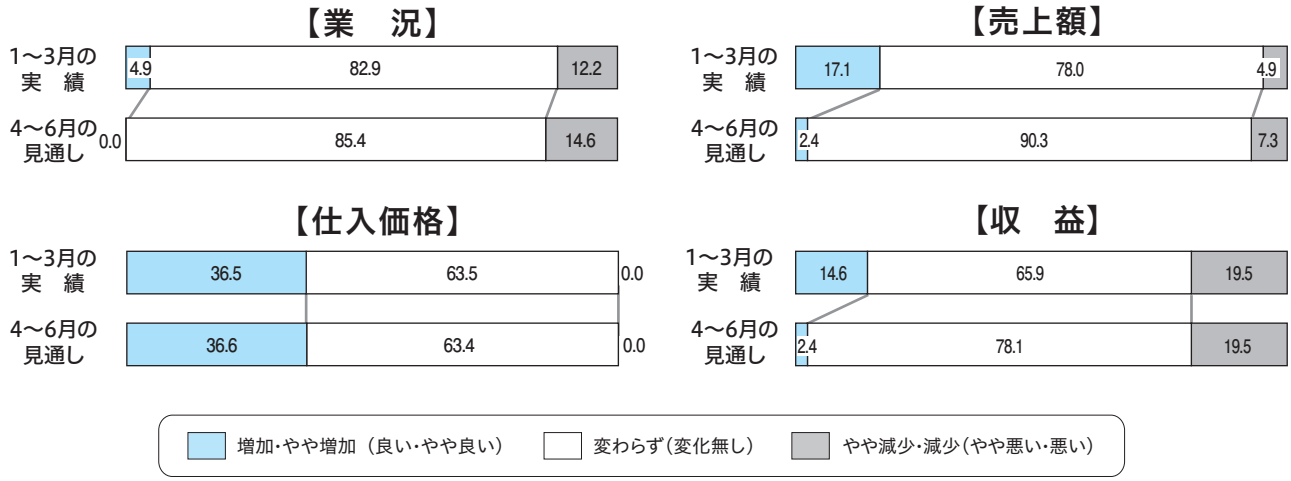


調査員のコメントから

●非鉄金属卸。アルミの市場価格上昇傾向にあったことから、下落を懸念し在庫を減らした。今後の動向について注視し、利益確保に努める方針である。

■小 売 業

回答企業数41企業（回答率100%）



概況（1月▶3月期）　業況判断D.Iは△7.3、前期比＋19.5ポイントの改善

景況天気図

項目別では、売上額判断D.Iが12.2で前期比＋14.6ポイントの改善、収益判断D.Iが△4.9で同比横ばいとなりました。また、前年同期比売上額判断D.Iが7.4で前期比＋7.3ポイントの改善、同収益判断D.Iが△12.2で同比△4.9ポイントの低下ました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△19.5で前期比＋7.3ポイントの改善となり、人手不足感が緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは0.0で前期比横ばいとなりました。

借入金の動きでは、「借入した」が9.8%（前期4.9%）、「予定あり」が4.9%（同0.0%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は2.0%（前期0.0%）となりました。

経営上の問題点では、「大型店との競争激化」が36.6%、「売上の停滞・減少」が31.7%、「同業者間の競争激化」が29.3%と上位に挙げられました。

見通し（4月▶6月期）

3ヶ月予報

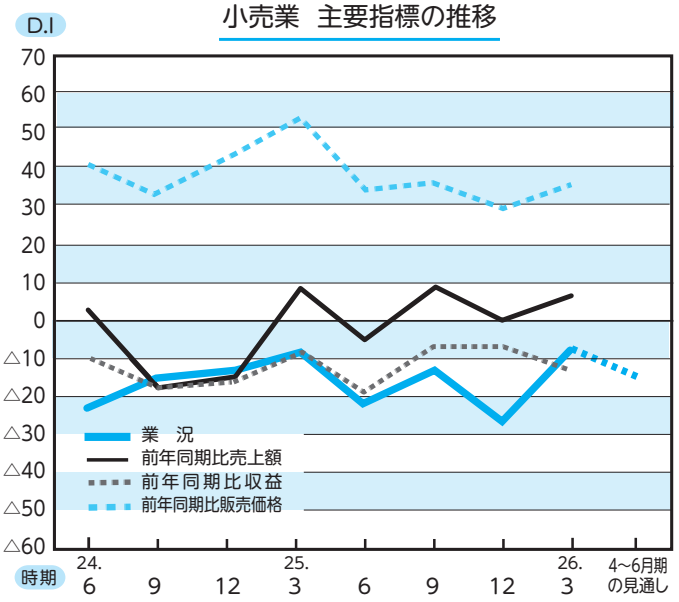
業況の見通し判断D.Iは△14.6、当期実績比△7.3ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比△17.1ポイント、収益判断D.Iが同比△12.2ポイントと、ともに低下を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比＋12.2ポイントの改善を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iと残業時間判断D.I、ともに当期実績比横ばいの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が68.3%、「品揃えを改善する」が31.7%、「宣伝・広告の強化」が19.5%と上位に挙げられました。

小売業　主要指標の推移

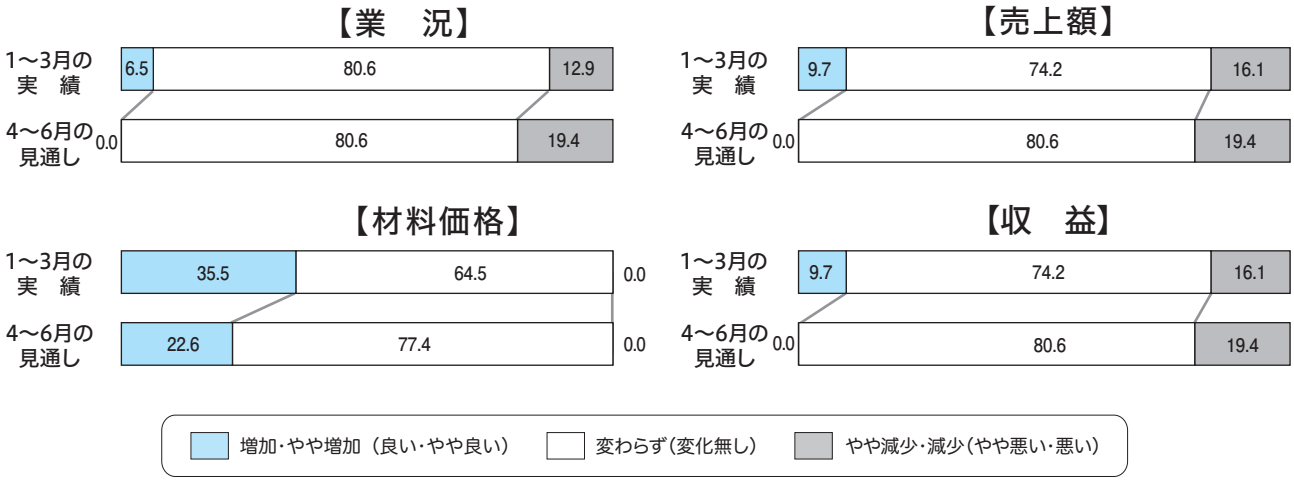


調査員のコメントから

● 食料品小売業。価格高騰の状況が様々な商品で続いているが、特売品等キャンペーンを設け、集客に力を入れている。

■ サービス業

回答企業数31企業（回答率100%）



概況（1月▶3月期）　業況判断D.Iは△6.4、前期比+3.3ポイントの低下

景況天気図

項目別では、売上額判断D.Iが△6.4で前期比△6.4ポイントの低下、収益判断D.Iが△6.4で同比+0.1ポイントの改善となりました。また、前年同期比売上額判断D.Iが0.0で前期比+3.2ポイントの改善、同収益判断D.Iが△12.9で同比横ばいとなりました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△22.6で前期比+3.2ポイントの改善となり、人手不足感はやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは3.2で前期比+3.2ポイント改善しました。

借入金の動きでは、「借入した」が6.5%（前期9.7%）、「予定あり」が6.5%（同6.5%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は3.2%（前期0.0%）となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が54.8%、「人手不足」が25.8%、「材料価格の上昇」が19.4%、と上位に挙げられました。

見通し（4月▶6月期）

3ヶ月予報

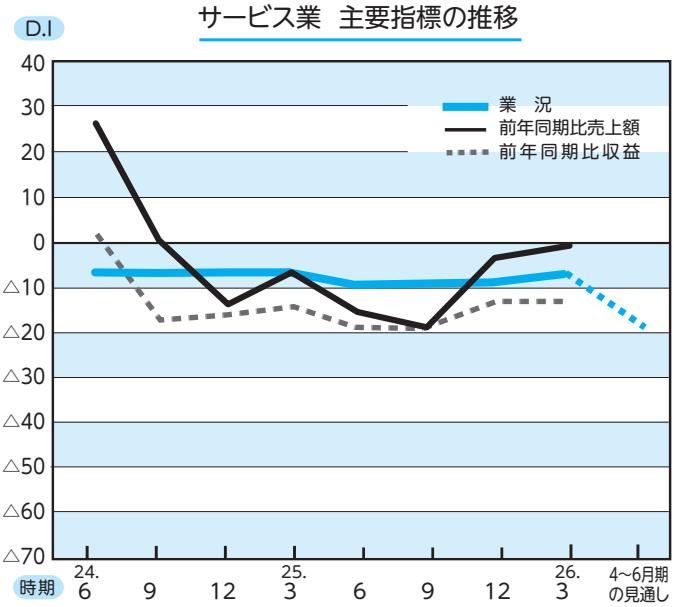
業況の見通し判断D.Iは△19.4、当期実績比△13.0ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比△13.0ポイント、収益判断D.Iが同比△13.0ポイントと、ともに低下を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比△12.9ポイントの低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばいの見通し、残業時間判断D.Iが同比△6.4ポイント低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が38.7%、「販路を広げる」が32.3%、「人材を確保する」が29.0%と上位に挙げられました。

サービス業　主要指標の推移

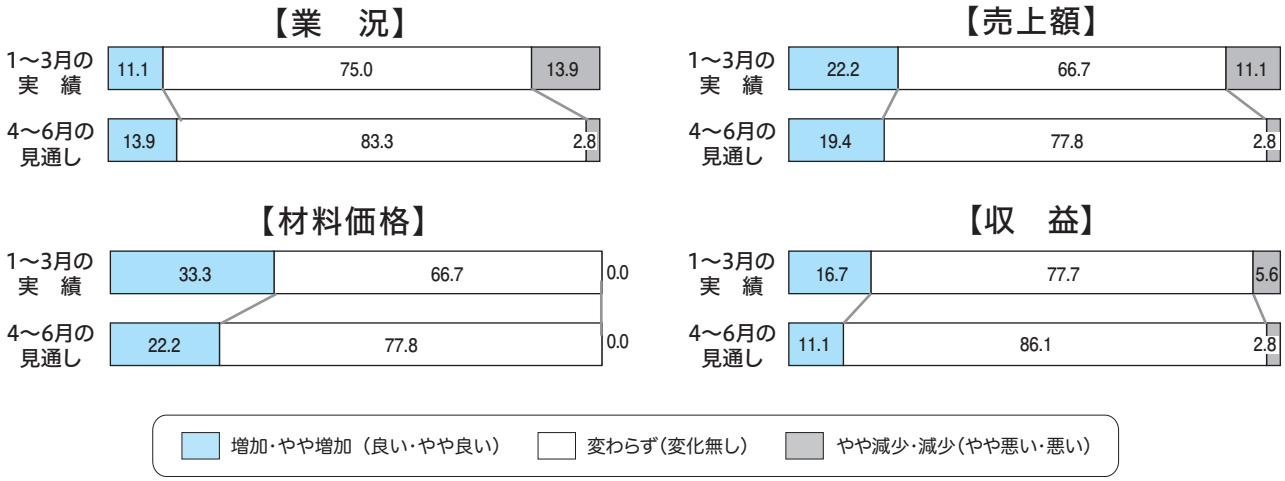


調査員のコメントから

- 自動車鈑金塗装。人手不足、技術者の高齢化等、技術の承継が課題となっている。
- 保険代理店。業況横ばいに推移、今後は新規開拓が必須である。

■建 設 業

回答企業36企業（回答率100%）



概況（1月▶3月期）　業況判断D.Iは△2.8、前期比△14.0ポイントの低下

景況天気図

項目別では、売上額判断D.Iが11.1で前期比△0.1ポイントの低下、受注残判断D.Iは19.4で同比＋8.3ポイントの増加となりました。また、前年同期比売上額判断D.Iが11.1で前期比△5.5ポイント、同収益判断D.Iが△2.8で同比△8.4ポイントとなり、ともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△22.2で前期比＋5.6ポイントの改善となり、人手不足感が緩和しました。前期比残業時間D.Iは2.8で前期比△2.8ポイントの低下となりました。

借入金の動きでは、「借入した」が13.9%（前期13.9%）、「予定あり」が13.9%（同8.3%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は5.6%（前期5.6%）となりました。

経営上の問題点では、「材料価格の上昇」が61.1%、「同業者間の競争激化」「人手不足」が36.1%と上位に挙げられました。

見通し（4月▶6月期）

3ヶ月予報

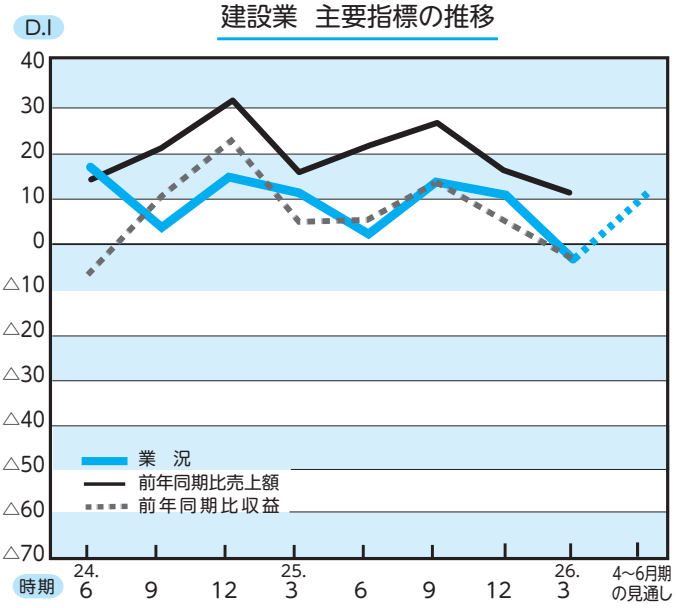
業況の見通し判断D.Iは11.1、当期実績比＋13.9ポイント改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比＋5.5ポイント改善の見込み、収益判断D.Iが同比△2.8ポイントの低下を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比△11.1ポイント低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比＋2.7ポイント改善の見通し、残業時間判断D.Iは同比横ばいの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が 69.4%、「人材を確保する」が 38.9%、「販路を広げる」が36.1%と上位に挙げられました。

建設業　主要指標の推移

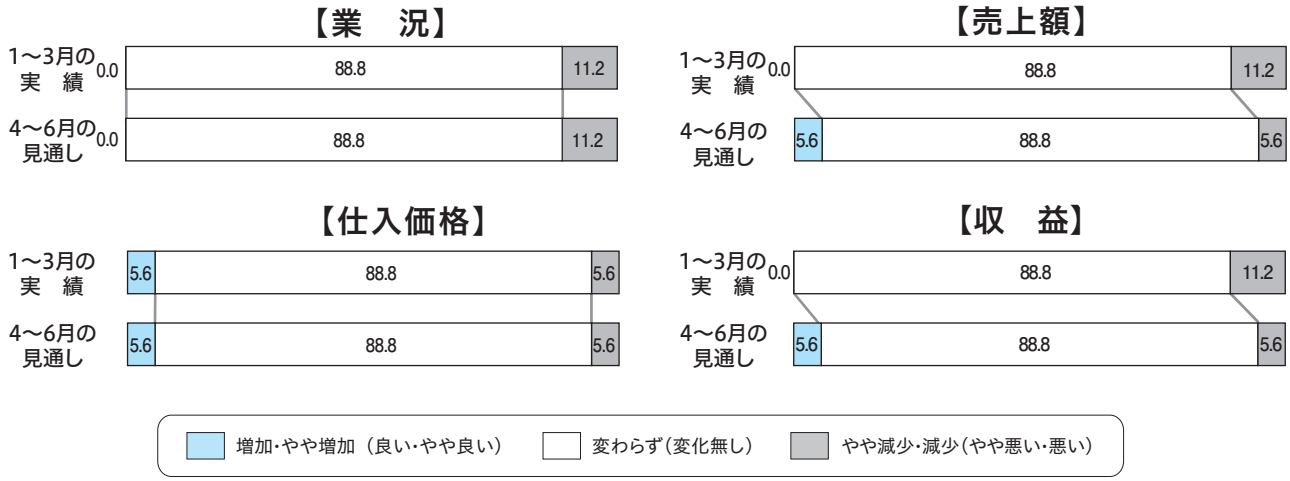


調査員のコメントから

- 年度末に公共工事の受注が増加し、増収傾向にある。
- 現時点で後継者が不在であり、今後の経営に不安がある。

■ 不動産業

回答企業数18企業（回答率100%）



概況（1月▶3月期）　業況判断D.Iは△11.2、前期比△0.1ポイントの低下

景況天気図

項目別では、売上額判断D.Iが△11.2で前期比△5.6ポイント低下、収益判断D.Iが△11.2で同比横ばいとなりました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△5.6で前期比△5.6ポイント、同収益判断D.Iは△11.2で同比△5.6ポイントと、ともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△11.1で前期比＋5.6ポイントとなり、人手不足感は緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは0.0で前期比＋5.6ポイントの改善となりました。

借入金の動きでは、「借入した」が11.1%（前期16.7%）、「予定あり」が11.1%（同11.1%）を示しています。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が50.0%、「売上の停滞・減少」が22.2%、「商品物件の不足」「人件費の増加」が16.7%と上位に挙げられました。

見通し（4月▶6月期）

3ヶ月予報

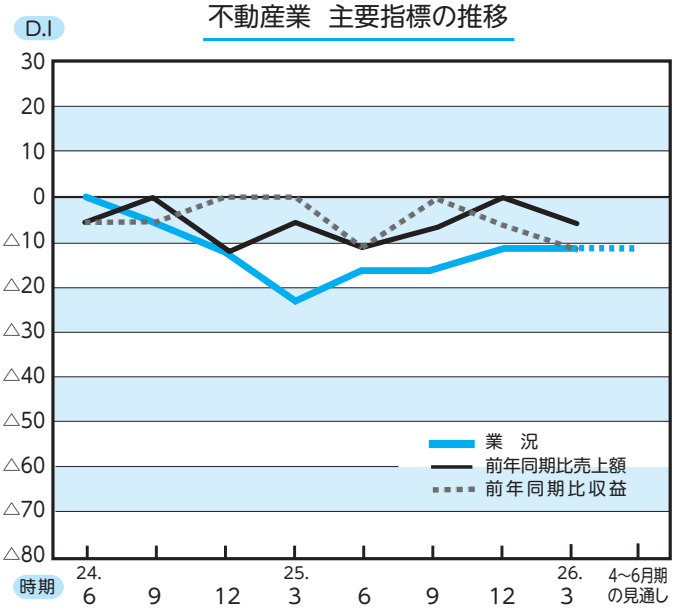
業況の見通し判断D.Iは△11.2、当期実績比横ばいの見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比＋11.2ポイント、収益判断D.Iが同比+11.2ポイントと、ともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比横ばいの見通しとなっております。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iと残業時間判断D.I、ともに当期実績比横ばいの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」が50.0%、「情報力の強化」が44.4%、「宣伝・広告の強化」が27.8%と上位に挙げられました。

不動産業　主要指標の推移



調査員のコメントから

- 外国籍のお客様からの引き合いが多く、周辺への懸念がある。
- 物件不足の状況が続いており、需要が大きい状況が続いている。

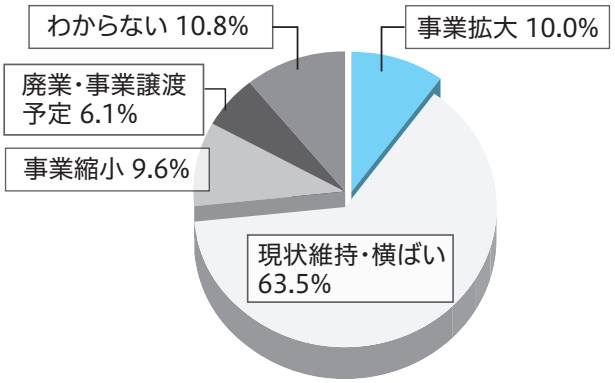
特別調査

中小企業経営者のライフデザイン

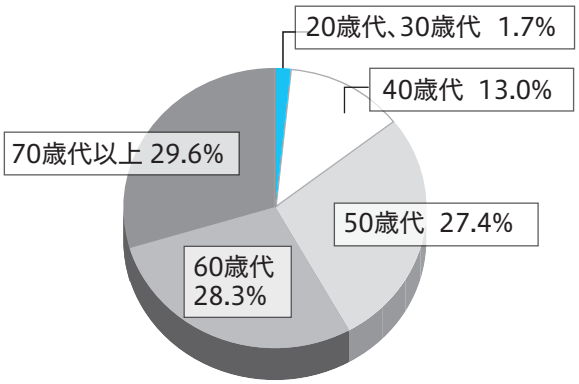
問1

社長（代表者）は、今後の10年先の自社の経営について、どのように展望していますか。
併せて、現在の社長（代表者）の年齢階層をお答えください。

10年先の自社の経営展望

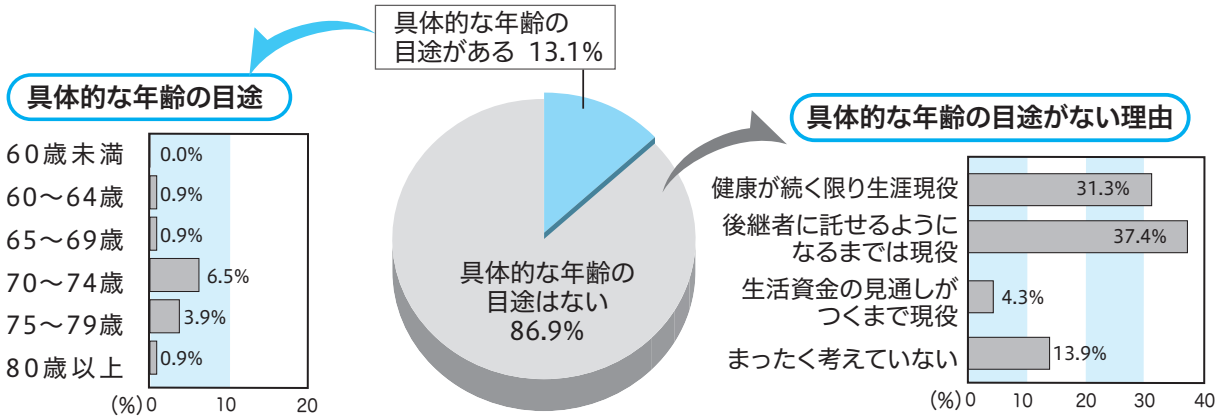


社長（代表者）の年齢階層



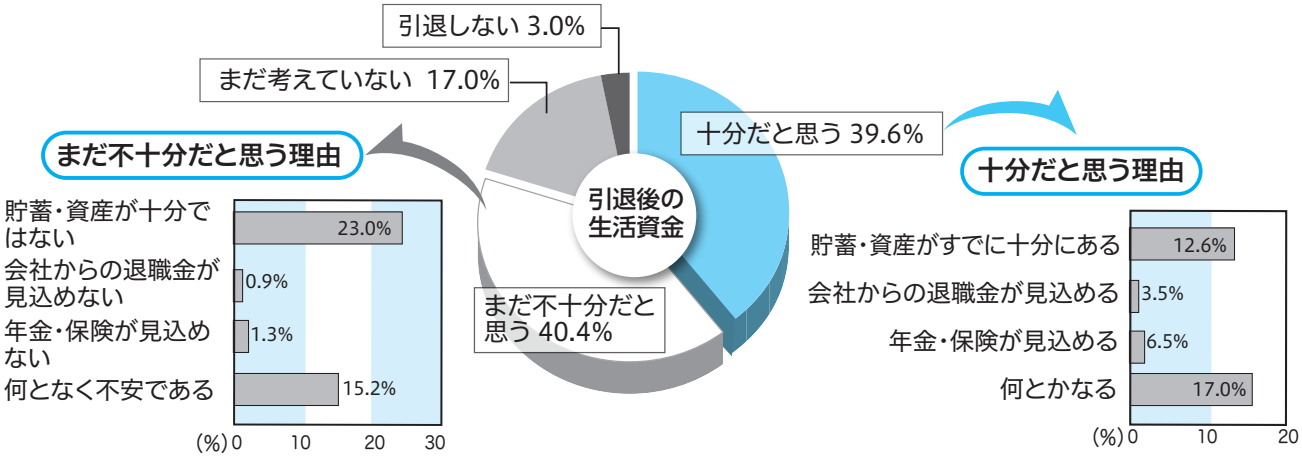
問2

社長（代表者）は、経営者としていつ頃まで現役を続けたいとお考えですか。

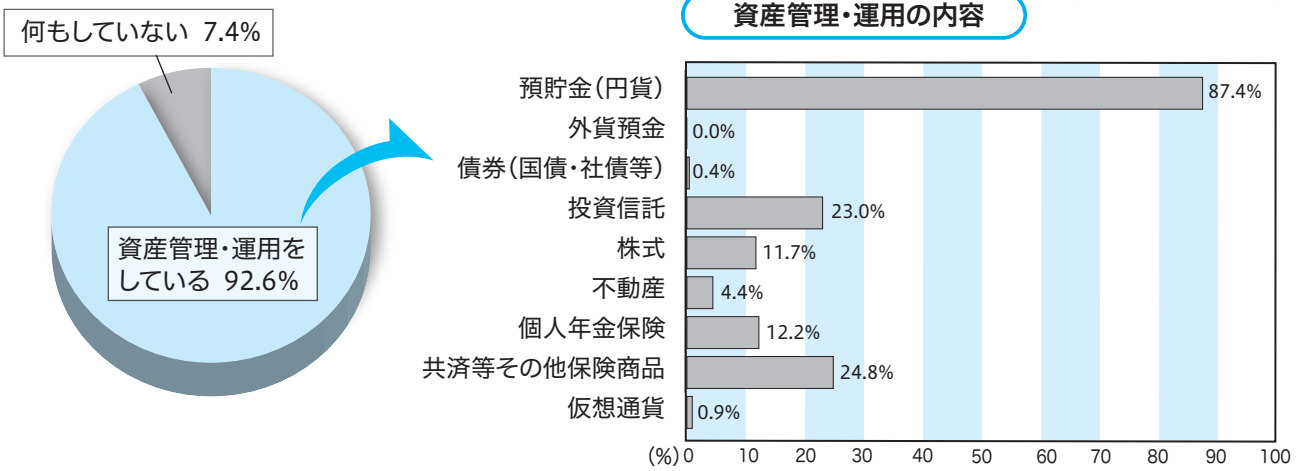


問3

社長（代表者）は、経営者を引退した後の生活資金についてどのようにお考えですか。

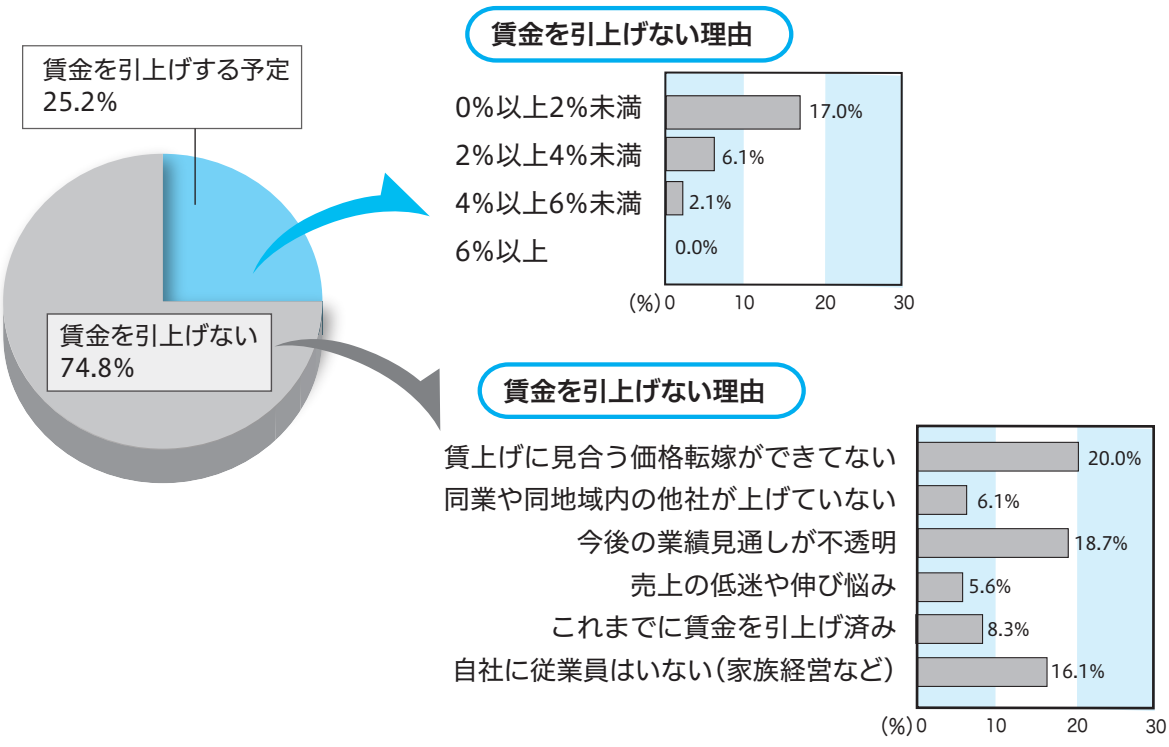


問4 社長（代表者）は、個人としてどのような資産管理・運用をしていらっしゃいますか。



特別設問

問5 貴社では、人材定着などに向けて、2026年中に賃金（定期昇給分除く、賞与や一時金除く）の引上げを実施（実施予定を含む）しますか。引き上げる場合はその賃金引上げ率について選んでお答えください。また、引上げない場合はその理由についてお答えください。



提携事業所にお勤めのみなさまへ

QRコードを読み取っていただくと結城信用金庫のホームページにアクセスできます。

職域サポート契約制度

職域サポート契約制度とは？

当金庫と職域サポート契約制度を締結いただいている提携事業所にお勤めの皆様全員が対象となり、各種ローンをご利用される場合、特別金利でご利用いただける制度です。

提携事業所は、次のいずれの要件も満たすものとします。
①当金庫営業区域内で事業を営んでいる法人・個人事業所（従業員数5名以上）であること。
②手形交換所または電子債権記録機関の取引停止処分のないこと。
③当金庫との取引の有無は問いません。（当金庫営業区域内の地方公共団体等）

下記のローン商品の金利を店頭表示金利から

年1.50%引き下げます。

※ただし、他の金利引き下げ適用との重複はできません。

ご利用いただける方
（右記の条件をすべて満たされる方）

- **契約先の代表者、役員または従業員の方**
- **申込時の年齢が20歳以上の方**
- **保証会社の保証が得られる方**

職域サポート契約制度の対象ローン（一社）しんきん保証基金6商品

一般個人ローン
ご融資金額 500万円以内
ご利用期間 10年以内

ブライダルローン
ご融資金額 500万円以内
ご利用期間 10年以内

カーライフプラン
ご融資金額 1,000万円以内
ご利用期間 15年以内

教育プラン
ご融資金額 1,000万円以内
ご利用期間 16年以内

子育て応援プラン
ご融資金額 100万円以内
ご利用期間 10年以内

リフォームプラン
ご融資金額 1,000万円以内
ご利用期間 15年以内

商品の詳しい内容に付きましては、お近くの窓口またはホームページにてご確認ください。

※上記ローンにつきましては、事前に審査があり、審査結果によってはご希望に添えない場合がございます。
※勤務先を通じてお申込みする必要はありません。直接当金庫の担当者へご連絡ください。
また、お申込みおよびお申込み内容等は個人情報ですので、勤務先へお知らせすることは一切ございません。

2027年版カレンダー「ユーシンのある街」写真コンテスト

結城信用金庫の店舗がある街で未来に残しておきたい風景・街並み・祭りなどをテーマに写真コンテストを開催中！
応募作品の中から優秀作品を選定し、2027年のカレンダーに採用します。

※応募要領につきましては当金庫ホームページをご覧ください。

後　記

ユーシン景気動向調査に、ご理解とご協力を頂きまして、厚くお礼申し上げます。
皆さまのご意見、ご希望をどしどしお寄せください。

結城信用金庫営業統括部
〒307-8601　結城市大字結城557番地
TEL（0296）32-2110　FAX（0296）33-0414
https://www.shinkin.co.jp/yuki/

本誌は、環境に配慮し、再生紙と植物性大豆油インキを使用しています